

臨床研究に関する情報公開

「当院における高齢者胃癌に対する術後補助化学療法の現状」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 加藤憲治

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

2016年1月～2021年12月に当科で切除した胃癌の患者さん255例中、pStageII/IIIで術後補助化学療法を開始した高齢の患者さん76例が対象です。

研究目的・方法

急速に高齢化が進むわが国において、高齢者の胃癌患者さんを診察する機会が増えています。胃癌治療ガイドラインでは、pStageII/III胃癌に対しての術後補助化学療法が推奨されており、適応年齢に制限は設けられていませんが、高齢者に対する術後補助化学療法は導入や継続が困難であることが予想されます。そこで当科で経験した高齢の患者さんの術後化学療法の現状を後方視的に解析、評価し今後の診察に利用することを目的としました。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 加藤憲治